

平成28年度 昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

はだしでジャンプ みんなのびのび アリンコ隊
 ～笑顔のあいさつが輝く子どもの育ちを求めて～

2. 本年度の重点目標

<めざすがた>

- ・あいさつがしっかりできる子・はだしで元気に遊ぶ子 ・うたの大好きな子・のびのび自分を発揮する子
- ・話が聞ける子・友だちとなかよく最後までやり抜く子

<重点活動>

- ① ダイナミックな遊び ～はだしで遊ぼう～ 園舎・園庭での自由遊び 体力向上 マラソン、なわと び器械運動等
- ② アカデミックな学び ～楽しく学ぼう～歌う活動 絵本読み聞かせ せんの遊び 専科による学び等
- ③ 心の学び合い～やさしい心を育てよう～あいさつ きれいな言葉遣い ルールやマナーを守る 自然体験等

3. 自己評価

- A…十分達成されている
- B…達成されている
- C…取り組んでいるが、成果が十分でない
- D…取り組みが不十分である

| 項目 | 自己評価内容 | 評価 |
|--------------|--|----|
| 教育課程・指導 | ・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。 | A |
| | ・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。 | A |
| 保健管理 | ・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。 | A |
| 安全管理 | ・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。 | A |
| 組織運営 | ・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。 | A |
| | ・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。 | A |
| 研修（資質向上への取組） | ・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。 | A |
| | ・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。 | B |
| 教育目標・園評価 | ・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。 | A |
| | ・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。 | A |
| | ・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。 | A |
| 情報提供 | ・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。 | B |
| | ・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。 | A |
| 保護者・地域住民との連携 | ・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。 | B |
| 子育て支援・預かり保育 | ・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。 | B |
| | ・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。 | A |
| 教育整備環境 | ・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。 | A |

1. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- (1) あいさつのできる子やはだしでの遊び、歌う活動に重点を置き、知・徳・体のバランスのとれた園の目標がはっきりとして素晴らしい。小学校への繋ぎとしての人間形成を大事にしてほしい。
- (2) 個に合った丁寧で優しい保育に努めている。保護者との連携を大切に、連絡帳等で小忠実に伝えたい。
- (3) 季節に合った園外保育や行事が充実している。楽しむ姿や満足感、達成感など味わうことができた。
- (4) 基本的な生活習慣を育てて欲しいという意見が多い。心の教育に更に力を入れたい。
- (5) 幼保小の連携を大切に、子どもや職員同士の交流を活発にし、連携を図りたい。

2. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 全般に高評価であったが、具体的教育目標の実践に向かい、職員一同の研修や意思疎通を徹底したい。
- (2) 大きな事故や怪我は無かったが、小さな怪我は多い。日々安心・安全できる園環境を構築したい。
- (3) 魅力ある園作りの為、あいさつ、はだし・歌を中心に心身共にバランスのとれた子どもを育成したい。
- (4) 保護者とのコミュニケーションや情報発信を大切に、内容を工夫したい。園長だより、園だより、学級・学年だより、ホームページの充実を図りたい。
- (5) 園公開など魅力ある企画を考え、園児募集が充実し信頼される園として発展させたい。